



いろは呑龍新聞

2020年(令和2年)7月号
第55号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

呑龍ポンプ場・11ロットの打設

呑龍ポンプ場の現場では、7月1日、ポンプ場躯体の最終ロットである11ロット目のコンクリート打設を行いました。1日の打設量は約2,000m³もあるため、6箇所生のコン工場から出荷し、6箇所からコンクリートポンプ車により打設を行い、約9時間で打設を完了しました。

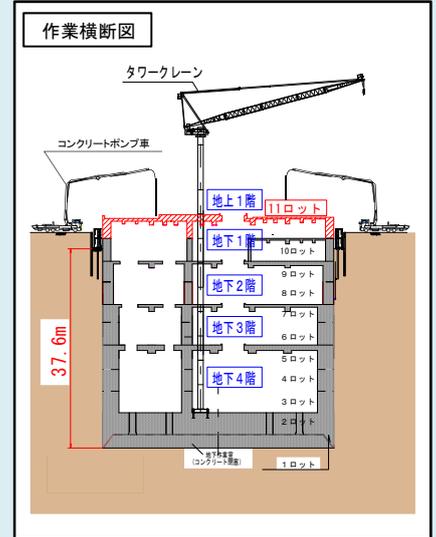
ポンプ場構築の大規模なコンクリート打設は、最後となります。



▲コンクリート打設前

▲コンクリート打設中

▲コンクリート打設完了



地下構造物はほぼ完成！
後は地下内部の仕上げ作業だ。

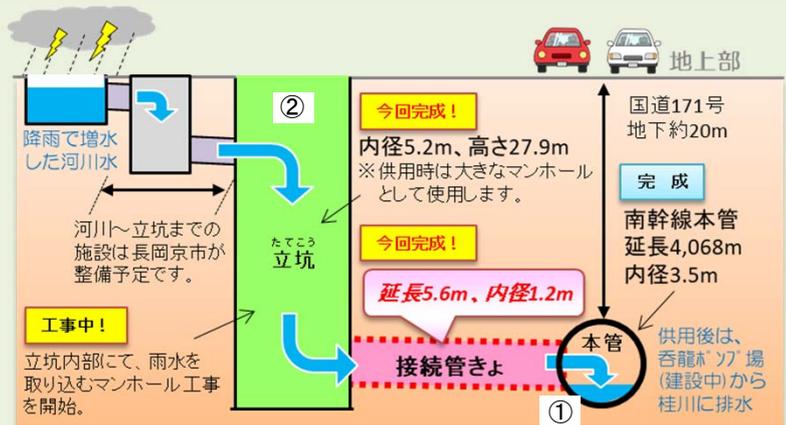


五間堀川5接続施設・接続管きよ工事完成

五間堀川5接続施設工事は令和元年10月から工事を実施しており、6月末に立坑から南幹線本管へ雨水を流入させるための接続管(延長5.6m、内径1.2m)の施工が完了しました。

引き続き、立坑内に雨水をスムーズに取り込むためのマンホール工事を実施しています。

現在、配筋作業とコンクリート打設を繰り返し行い内部構築を進めています。



接続管渠の接続箇所は、孔開け加工ができるように鋼製のリングで仕上げてあります。



▲南幹線本管(工事着手前)



▲南幹線本管(立坑、管きよ工事完成後)



▲マンホール工事 施工状況